

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

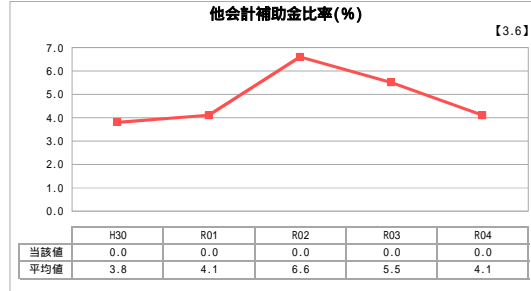
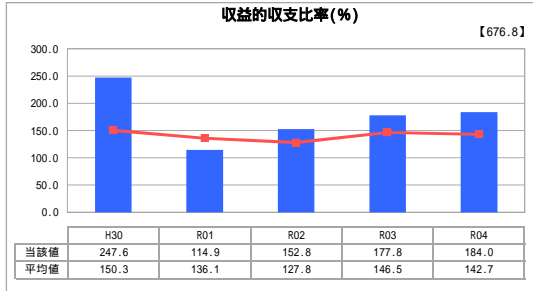
兵庫県神戸市 三宮第2駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	49	

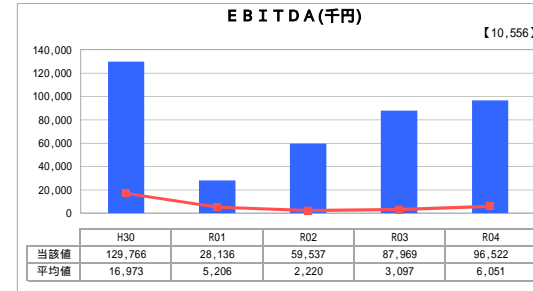
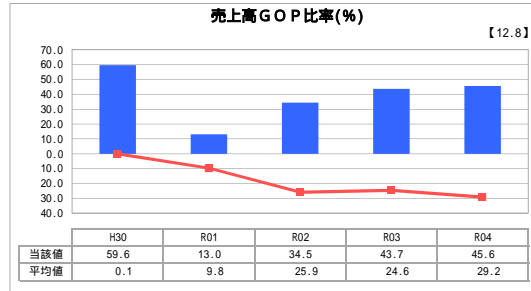
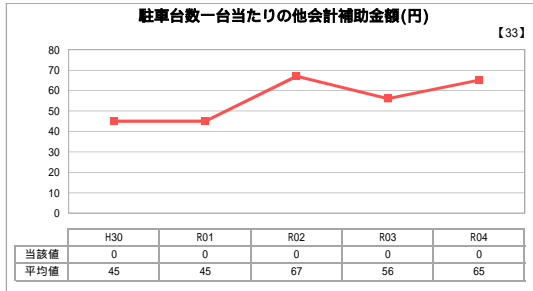
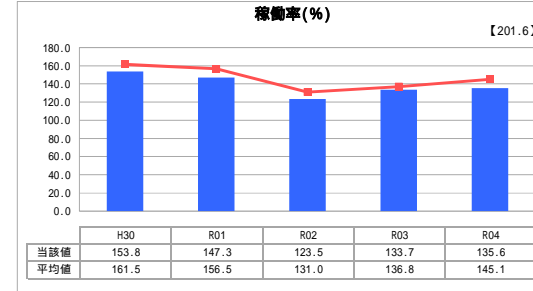
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
公共施設	無	19,348
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
519	400	代行制

グラフ凡例
当該施設値(当該値) 類似施設平均値(平均値) 【】 令和4年度全国平均

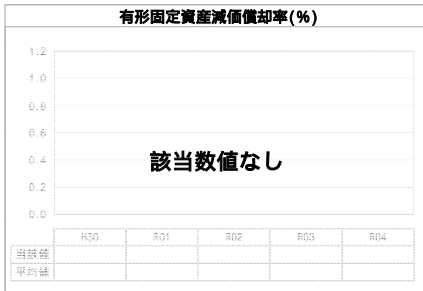
## 1. 収益等の状況



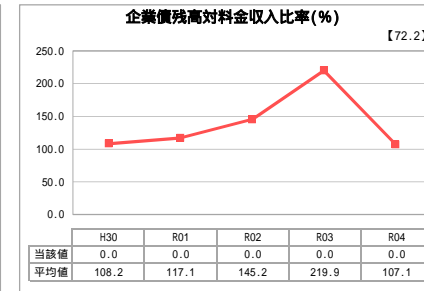
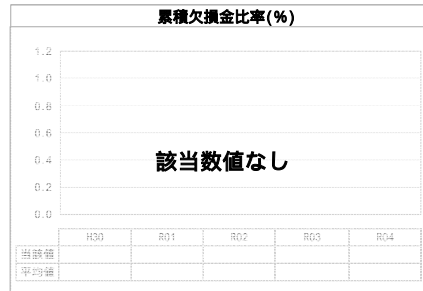
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



敷地の地価(千円)
0
設備投資見込額(千円)
675,574



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
 収益的収支比率は前年度から増加し、類似施設の平均を上回った。  
 売上高GOP比率、EBITDAは前年度から増加しており、類似施設の平均値を大きく上回った。  
 三宮・三宮第2は一体で運営されており、健全な経営状態といえる。

2. 資産等の状況について  
 設備投資見込額は駐車場の規模が大きいこと、供用開始から50年以上経過していることから昨年度より増加した。引き続き必要な設備更新に対する投資を計画的に実施していく。  
 企業債残高対料金収入比率は平成29年度より0である。

3. 利用の状況について  
 稼働率は前年度よりも増加したが、平均を下回った。

全体総括  
 都心部の駐車場であり、市営駐車場事業全体に与える影響は大きい。新型コロナウイルスの影響が軽微となり、事業収益の回復が見られる。令和4年度に自動二輪車の駐車枠を大幅に増設したことから、今後の収益の改善が見込まれる。ただし、設備の老朽化が進んでいることから、引き続き設備投資の見込み額は増加する予定である。都心三宮再整備に伴う周辺土地利用環境の変化も踏まえ、収益の増加及び安定化を目指していく。